

2025.02.05(水) 盛岡本校と奥州校 リーダー集結

～杜陵高 異なる校舎／定時・通信制課程 生徒交流、防災学ぶ【胆江日日】

盛岡本校と奥州校 リーダー集結

杜陵高 異なる校舎／定時・通信制課程

生徒交流、防災学ぶ



オール杜陵高校生徒交流で語り・
継ぎトランプを楽しむ生徒たち

県立杜陵高校(三田正巨校長)の本校・奥州校、定時制・通信制のリーダーが集まる「オール杜陵高校生徒交流会(冬)」がこのほど、2日間の日程で開かれた。初日は本校と奥州校の定時制、通信制課程で学ぶ生徒と、県立千厩高校の生徒計30人が盛岡市の本校に集結。大学生のサポートを受けながら、防災・減災への理解を深めるとともにコミュニケーション能力の向上も図った。

初日は若手大の学生と共に「語り・継ぎトランプ」を活用したワークショップに挑戦。同大の教職大学院生が「いわての復興教育」の発展につなげようと開発したトランプで、生徒たちはカードに描かれた防災知識について意見を交わし、スマートフォンで調べるとして楽しみながら学んだ。

参加した杜陵高校奥州校通信制の梅村琴和さん(1年)「生徒会議長」は「杜陵高校は同じ学校でも校舎や課程が違つと、なかなか関わる機会は少ない。いろいろな活動をしている人がいると知ることができて良かった。もっと関わる機会があれば話していた。」

創立100周年記念事業の一環として、23(令和5)年度に始まった。今回は、生徒会や応援団など学校活動で中心的な役割を担う生徒が参加した。